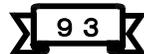




EBAタイムス

7月 第11号

広島市立江波小学校 学校だより



URL <http://www.eba-e.edu.city.hiroshima.jp/>

学校教育目標



自ら学び 自ら考え 豊かな心を持って
個性豊かに生活を創造する子どもの育成



6年 陶芸教室 1

6月27日（月）28日（火）29日（水）の3日間、6年生は各クラスごとに本年度1回目の陶芸教室を行いました。河村明治先生をはじめPTA楽焼部の方々のご指導・ご助言を受けながら、粘土をこね、形作りに挑戦した6年生。小学校生活の思い出として世界で一つの陶芸作品を作ります。6年生は真剣な眼差しで、ろくろを使いながら形を整えていきました。この後、底けずりと素焼きをしていただき、次回には作品に釉薬をつけます。本焼きをすればよいよ小学校生活の思い出の作品ができあがります。ご指導・ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



4年 平和公園碑めぐり・プラネタリウム見学



7月1日（金）4年生は社会見学に出かけました。最初の目的地は平和公園。「目と耳で聞き、目と心で見、心で感じること」「協力して行動すること」「公共の場では静かに行動すること」を確認し、グループで原爆ドーム・原爆の子の像・原爆慰霊碑や平和の灯・平和の池、教師と子どもの像・被爆アオギリなどを見学し、見学のしおりに平和への思いを綴りました。雨も上がり、ハノーバー庭園で昼食をとった後、広島市子ども文化科学館へ行き、理科の学習としてプラネタリウムの見学を行いました。天井いっぱい広がる星空の大パノラマに、4年生の瞳も輝きます。夜空の星の動きを実感することができた貴重な体験でした。



被爆体験継承学習

6月30日(木)・・・さん・・・さん・・・さんをゲストティーチャーをお



招きして、平和の尊さ、命の大切さについて考える被爆体験継承学習を4～6年の各学年で行いました。戦争当時の生活や、被爆の体験、原子爆弾の恐怖や、これから未来を担う子どもたちに伝えたい願いなどを語っていただきました。実際の経験をご本人から聞く迫力に、子どもたちも集中して聞き入っていました。この貴重な経験が、子どもたちの心に平和の灯火となり、いつまでも輝き続けることを願ってい

中区西部6校PTA親善バレーボール大会



7月10日(日)江波小学校で、第22回中区西部6校PTA親善バレーボール大会が行われました。参加したのは、神崎小学校・本川小学校・広瀬小学校・舟入小学校・江波中学校・江波小学校の6校。今年は江波小学校が当番校のため、運営を担当しました。松尾PTA会長・大塚校長のあいさつで始まり、いよいよ試合開始。体育館の中は各校の応援やハッスルプレーで熱気に溢れていました。新メンバーを

加えた江波小学校PTAバレー部は予選リーグで2試合ともフルセットの接戦を繰り広げ、応援に集まった方々とともにバレーボールの楽しさを味わうことができました。予選リーグを勝ち抜いた神崎小学校と江波中学校が決勝戦を行い、神崎小学校が優勝しました。PTAバレー部をはじめ、プレーや運営、準備や片付けで参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。



6年 ピースキャンドルづくり

7月11日(月)2・3校時に6年生は、体育館でピースキャンドルを作りました。平和学習として、「ひろしま点灯虫の会」から、ゲストティーチャー2名をお招きしました。牛乳パックを型にして、ろうを流し、込み冷やして取り出します。「1・2・3・4・5」1面ずつ時間を計りながら冷やしていきました。取り出したキャンドルにクレヨンやクレパスで平和の願いを描き、ピースキャンドルの完成です。体育館を暗くして作ったキャンドルに火をとると、幻想的な光の輪ができあがりました。製作にご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

